

|  |             |                      |                 |      |      |              |      |     |              |      |             |              |      |     |              |       |      |              |       |            |          |         |                      |         |     |      |
|--|-------------|----------------------|-----------------|------|------|--------------|------|-----|--------------|------|-------------|--------------|------|-----|--------------|-------|------|--------------|-------|------------|----------|---------|----------------------|---------|-----|------|
| <b>活動名</b><br>学生ボランティア「ほんわかプロジェクト」の定着と実践活動への支援   | <b>団体名</b>  | ほんわかプロジェクト応援団        |                 |      |      |              |      |     |              |      |             |              |      |     |              |       |      |              |       |            |          |         |                      |         |     |      |
|  | <b>地域</b>   | 広島県広島市               |                 |      |      |              |      |     |              |      |             |              |      |     |              |       |      |              |       |            |          |         |                      |         |     |      |
|  | <b>代表者</b>  | 比治山大学 教授 石井 眞治       |                 |      |      |              |      |     |              |      |             |              |      |     |              |       |      |              |       |            |          |         |                      |         |     |      |
|  | <b>支援金額</b> | 42万円                 |                 |      |      |              |      |     |              |      |             |              |      |     |              |       |      |              |       |            |          |         |                      |         |     |      |
| <b>活動概要</b>  |             |                      |                 |      |      |              |      |     |              |      |             |              |      |     |              |       |      |              |       |            |          |         |                      |         |     |      |
| <p>ボランティア活動を志す大学生に対し、社会的に意義の高い「がん検診受診啓発」活動を中心に、年間を通して一般市民との関わりの高い活動への参加機会を案内し、円滑にゆくよう後方支援をしている。なお、大きな目的として、在学大学単位でなく他大学の仲間達と合同で活動してもらい、その過程からお互いのコミュニケーション能力を高めることを掲げている。活動が一般社会人を対象とすることや、趣旨説明が主になることから、かなり気をつかうものであるが、事前学習を複数回行うことや、大人達が後方支援をきちんと行うことで、学生各自の感性をより豊かにできると考えている。</p> <p>◆実施時期 平成22年度の通年 5月に打合わせと勉強会を開始、6月から一般市民対象に、啓発活動を開始した。</p> <p>○がんに関する勉強会 5月から10月にかけて、5回開催 場所： 広島市内</p> <p>○22年6月以降23年3月までに複数回開催された、がん医療の知識及び早期発見の重要性を知らせるフォーラムや公開講座などに、運営側及び活動説明側として参画する機会を設けた。<br/>場所：広島市が大半 一部は廿日市市開催も含む</p> <p>○10月、11月には、在学する大学で開く大学(学園)祭で、テント及びブースを設け、多数の来場者に向けて学生が主役となって受診啓発の活動を行い、応援団も参加した。<br/>場所： 広島市内</p> <p>○22年9月には、安芸太田町で開催されたウルトラ(過酷という意味)マラソンに、運営ボランティアの要請を受け、住民が発案・運営する大規模な地域興し行事への支援として2大学の学生と共にボランティア参加し、都市部の若者が呼応したことで地域への良い刺激となった。<br/>場所： 山県郡安芸太田町</p> <p>◆参加人数</p> <table border="0"> <tr> <td>①グリーンバナナ・プロジェクト</td> <td>6/20</td> <td>210名</td> </tr> <tr> <td>②がん医療に関する勉強会</td> <td>9/15</td> <td>25名</td> </tr> <tr> <td>③安芸太田しわいマラソン</td> <td>9/19</td> <td>(ランナーは260名)</td> </tr> <tr> <td>④がん医療に関する勉強会</td> <td>10/4</td> <td>31名</td> </tr> <tr> <td>⑤ピンクリボンフォーラム</td> <td>10/16</td> <td>280名</td> </tr> <tr> <td>⑥がん医療に関する勉強会</td> <td>10/25</td> <td>(広島大学) 10名</td> </tr> <tr> <td>⑦大学(学園)祭</td> <td>10月～11月</td> <td>ブースへの来場者多数(計測していません)</td> </tr> <tr> <td>⑧市民公開講座</td> <td>3/6</td> <td>530名</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">延べ参加総人員 1,086名(計数分のみ)</p> |             |                      | ①グリーンバナナ・プロジェクト | 6/20 | 210名 | ②がん医療に関する勉強会 | 9/15 | 25名 | ③安芸太田しわいマラソン | 9/19 | (ランナーは260名) | ④がん医療に関する勉強会 | 10/4 | 31名 | ⑤ピンクリボンフォーラム | 10/16 | 280名 | ⑥がん医療に関する勉強会 | 10/25 | (広島大学) 10名 | ⑦大学(学園)祭 | 10月～11月 | ブースへの来場者多数(計測していません) | ⑧市民公開講座 | 3/6 | 530名 |
| ①グリーンバナナ・プロジェクト  | 6/20        | 210名                 |                 |      |      |              |      |     |              |      |             |              |      |     |              |       |      |              |       |            |          |         |                      |         |     |      |
| ②がん医療に関する勉強会   | 9/15        | 25名                  |                 |      |      |              |      |     |              |      |             |              |      |     |              |       |      |              |       |            |          |         |                      |         |     |      |
| ③安芸太田しわいマラソン   | 9/19        | (ランナーは260名)          |                 |      |      |              |      |     |              |      |             |              |      |     |              |       |      |              |       |            |          |         |                      |         |     |      |
| ④がん医療に関する勉強会   | 10/4        | 31名                  |                 |      |      |              |      |     |              |      |             |              |      |     |              |       |      |              |       |            |          |         |                      |         |     |      |
| ⑤ピンクリボンフォーラム   | 10/16       | 280名                 |                 |      |      |              |      |     |              |      |             |              |      |     |              |       |      |              |       |            |          |         |                      |         |     |      |
| ⑥がん医療に関する勉強会   | 10/25       | (広島大学) 10名           |                 |      |      |              |      |     |              |      |             |              |      |     |              |       |      |              |       |            |          |         |                      |         |     |      |
| ⑦大学(学園)祭   | 10月～11月     | ブースへの来場者多数(計測していません) |                 |      |      |              |      |     |              |      |             |              |      |     |              |       |      |              |       |            |          |         |                      |         |     |      |
| ⑧市民公開講座  | 3/6         | 530名                 |                 |      |      |              |      |     |              |      |             |              |      |     |              |       |      |              |       |            |          |         |                      |         |     |      |



宮島大聖院啓発イベント後



「しわいマラソン」前日のボランティア学生



比治山大学での啓発活動 2010



女学院大学での啓発活動 2010

#### ◆実施に伴う効果

在学する大学の学生達に、社会的な意義の高いボランティア活動の一例を具体的に示してくれる価値があると、大学幹部や学生担当職員から好意的な意見をj得ている。

そして、がん検診受診を呼びかけ、たいていが夕方から開始される「勉強会」に積極的に参加し、熱心に聴き入る学生達を見て、「患者や家族でもない立場なのに、みんなのためにと頑張ってくれている姿にすごく感激した」とか、「これまで自分ががんに罹患していることを周囲に言えないでいたが、啓発活動に取り組む学生達の姿に驚いた。そして、暗く悩むのをやめて、自分の辛い経験や不安な心情を話したら、なにか役立つはずだと思う勇気が湧いた」と、会の終了後に言ってくれる方が複数おられ、受診啓発以外にも良い影響を及ぼす活動であることに我々も驚いた。

また、「安芸太田しわいマラソン」の支援では、かなり負荷の高い役割を快く担った。「広島市から手伝いに来てくれた学生達のとてきばきとした姿勢に周囲が刺激された。立派な若者達で感心した」との地域住民及び役員からの感想を、後日の反省会の場で聴くことができた。次回開催を動機づける一助になるかもしれない。

もちろん学生達にとっても、初対面の大人達に接し共に汗する過程で体得したコミュニケーション能力も大きかったと、帰路の車中の会話から実感できた。

#### ◆苦勞した点

幸いほとんど困ったことがなかった。これまでの活動の下地もいくらかあり、明解な目的意識を持った学生が集まってくれることと、応援する人達が大きな苦勞を経た経験者であるため、温かくなにより学生達の志に敬意を持って臨んでくれることが力になった。

中には無関心な市民もいるが、これはしかたのないことで学生達もきちんと消化させている。

#### ◆今後の課題・発展の方向性

学生は就職活動や卒業論文作成など、在学年次で大きな事情変化がある。このため、参加の意欲は高いものの、実際の参加は困難になるなど、この活動に限らず意志の承継が課題となる心配は続く。

大きな災害が生じた後には、災害ボランティアの編成などの気運が高まりやすい。当応援団もテーマのひとつにしているが、志のある若者たちの意向を実行に移すために、地域や関係機関との交渉などに慣れた大人達が支援してゆくと、無理や無駄のない支援体制が築けると思う。

大きな規模を狙わずに、身動きのよい規模で編成できると思う。

#### ◆活動をj終えての感想・意見等

「活動の場は多い方が良い。自分の大学内での活動に留めてほしくない」との考えから、一般市民や患者と接する場をかなり設定してきた。前述した活動報告はその一部だが、学生達の熱心さと、それを応援する人達の温かな視線に安堵し、不安をほとんど感じなかった。

ただ、がんと闘う最中の人や不安を抱える家族との接触は、かなり神経をつかう連続であるため、全く性格の異なる「ウルトラマラソン」の支援に臨んでみたが、前日の作業後わずかの仮眠をとって、未明からの仕事に行くなど、予想の数倍の激務だったことに苦笑した。

ただ、携わった学生達から不平や不満がj発せられることがなく、優れた人柄の若者と協働できたことは、私達応援する側にとっても大きな意義をもたらしてくれた。

さて、従来に増した活動機会と活動人数増を可能にできたのは、貴マツダ財団による支援があってこそ。今回活動に臨んでくれた若者(学生)達が努力したことが感謝され、「生き方を変える契機となった」との言葉を胸に実社会に出てゆく成果となった。

あらためて、貴財団の支援に心からの感謝を申し述べる。